

令和5年度第3回福祉有償運送運営協議会 報告事項に関する意見

構成員	意見	回答
山形地区福祉有償運送 実施団体連絡協議会 代表 齋藤 丈夫	<p>有償運送の必要性について 運営協議会の協議事項の内「有償運送の必要性」について協議することが義務付けられています。しかしながら、東南村山地域福祉有償運送運営協議会では必要性が協議事項として協議されたことはほぼ無かったように思います。</p> <p>出席された各自治体の担当者は、機械的に「必要です」と発言されていますが、本当に必要性を感じていらっしゃるのでしょうか。本当に必要だとお考えならば「移動に不自由を感じている」弱い立場の住民に対し何が出来るのか、行政として何をすべきか議論すべきではないでしょうか。前回の協議会では、このことを協議するようお願いしたところ座長は前向きに検討される旨のお話がありました・・・。</p>	<p>今回は、社会福祉法人愛泉会向陽園ホームヘルプステーション心音からの、運送対価の変更についての申し出から対価の変更までの期間が短いため、運営協議会を書面開催で行いました。また、協議事項についても、1つに絞って行いましたが、令和6度第1回目の東南村山地域福祉有償運送運営協議会では、福祉有償運送の必要性について、協議したいと思います。</p>
	<p>自家用有償運送の制度改正について 先般、メールを通じお知らせ頂きありがとうございました。</p> <p>しかしながら、浅学菲才の私は理解するのに苦慮しております。他県では関係者に対し説明会などがなされているように聞いております。ご多忙とは存じますが、出来る事ならば、メールを送信したから一件落着ではなく、全実施団体及び関係者に対し説明会などを早急に開かれるようお願い致します。</p>	<p>令和5年度第1回目の運営協議会において、制度改正時の流れについて決定したところです。（別添資料 参照）各運送団体の説明会開催の意向を確認し、必要に応じて説明会の開催を検討してまいります。</p>
	<p>関係者の意思統一又は確認のお願い 利用者がケアマネ等に対し、移動の不自由を訴えたところ担当ケアマネはその必要性を感じ手続きを始め、利用者は大きな期待を持ちながら待っていたところ不承認の回答があったとのこと。このような話をチラホラ聞こえてきます。これは、利用者と身近に接するケアマネ等が制度に対する理解が不足しているからと思えます。利用者に期待を持たせ、結果として利用者を裏切るようなことに成ってしまいました。</p> <p>特に行政区域の広い上山市の様に利用者が多い地域で散見されます。ケアマネ等利用者に身近に接する職員の理解度を高めるようお願いします。</p>	<p>ケアマネや障がいサービス事業所等の関係機関への福祉有償運送の正しい制度の周知については、各市町事務局と共有し、行っていききたいと思います。</p>